

学習成果に関する調査研究

中間報告書

平成 29 年 7 月 26 日

公益財団法人大学基準協会

高等教育のあり方研究会 学習成果に関する調査研究部会

はじめに（本報告書について）

本報告書は、公益財団法人大学基準協会（以下、「本協会」という。）が高等教育のあり方研究会のもとに設置した学習成果に関する調査研究部会による調査研究について、中間段階における成果をまとめたものである。

本協会は、大学評価等の評価を行う機関として必要な調査研究等を行うため、高等教育のあり方研究会を設置している。同研究会は、これまでさまざまな部会を置いて調査研究にあたり、例えば内部質保証のあり方に関する調査研究については、その成果を『内部質保証ハンドブック』として刊行し、大学関係者の参考に供してきた。本調査研究も、学習成果の設定、測定及び活用に関して各大学で試行錯誤が繰り返されている状況にあって、その取り組みを支援することを意図して実施するものであり、その最終成果はハンドブックとして刊行することを予定している。このハンドブック刊行に先立って、主にアンケート調査結果で得られたデータを公開し、調査研究の現段階の成果を整理しようとするのが本報告書である。

本報告書は、以下でまず調査研究の背景と目的を説明し、また、調査研究の方法やこれまでの経緯及び今後の計画を述べる。その後、アンケート調査の素集計結果を記載する。

1. 調査研究の背景と目的

大学教育の成果として学習成果を提示することは、高等教育政策上も社会からの要求としても高まってきている。これについては、各高等教育機関のみならず多くの専門分野においても共有された認識となり、高等教育の質保証においても、学習成果が重要な要素として挙げられているのが今日の状況である。これと同時に、学生に学習成果を身に付けさせるための方策として何をすべきか、そして教育改善を実質化するには何が必要かについて多くの高等教育機関が議論を重ね、実際に、日本の高等教育は初年次教育やFDの進展などさまざまな努力を重ねてきた。平成 30 年から機関別認証評価は第 3 期目を迎えるが、そこでは本協会をはじめ各認証評価機関とも学習成果に関する大学の取り組みをより重視し、評価にあたることを基本方針のひとつとしている。

本協会は平成 22 年に改定した「大学基準」において、学習成果に関する明示的な規定を設け、それをもとに平成 23 年度からの大学評価を行ってきた。この大学評価においては、課程修了時に修得が期待される学習成果を学位授与方針において明示することと、その学習成果を評価する指標の開発に努めることを求めている。ところが、平成 27 年度までの評価実績として、学位授与方針への学習成果の明示がない、または不十分であるとして、評価結果で改善の提言が付された大学は 117 大学という結果になった。これは評価を受けた大学全体の約 57%にあたる。また、学習成果を評価する指標の開発に

着手していない、または不十分であると指摘された大学も少数でなく、多くの大学が課題を抱えている状況であるといえる。これらの結果から、学習成果の設定とその測定に課題を抱えている大学は多いことが推測される。一方、平成 28 年には文部科学省により「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」の策定と運用に関するガイドラインが公表され、各大学は3つのポリシーの一体的な策定と運用の整備を行ってきた。特に学位授与の方針は、「学生の学修成果の目標ともなるもの」とされ、学習成果をどう捉え、どう測定していくかが重要な課題となるだけでなく、第3期の認証評価を視野にいれる大学にとって、いかに学習成果を設定、測定し、質保証に活用していくかが求められているといえる。

こうした状況を背景に、学習成果の設定、測定及び活用に関して理論的整理を行うとともに、我が国の大学におけるこれに関する取り組みを把握・分析し、有効性のある取り組みを明らかにすることを目的に実施したのが本調査研究である。

2. 調査研究の方法と行程

調査研究は、質問紙によるアンケート調査と訪問調査の2つの方法を柱としている。何れもこれまでに終了し、現在はその結果を踏まえた分析作業を進めている。

(1) アンケート調査

アンケート調査は、平成 28 年 9 月から 10 月にかけて行った。対象としたのは、学士課程を置く国立、公立及び私立（株式会社立含む）の全大学（755 大学）である。うち 473 大学から回答を得ており、回答率は 62.6%である（回答大学の一覧は、資料編（1）参照）。

質問項目は、下記の見出しのもとに設定し、選択肢による質問項目と記述による質問項目から構成した（資料編（2）参照）。

- I. 大学の基本情報
- II. 大学の機関別認証評価の受審状況
- III. 学習成果の「設定」について
- IV. 学習成果を「達成するための取り組み」について
- V. 学習成果の「測定」「検証」について
- VI. 学習成果の「設定」状況について
- VII. 課題認識について
- VIII. 国内外の参考事例

IX. 3つのポリシーの状況について

(2) 訪問調査

訪問調査は、平成 29 年 1 月から 3 月及び 6 月に行った。対象としたのは、下記 5 大学である。これらの大学は、アンケート調査結果（複数の大学から参照大学として挙げられている大学）や、文部科学省による大学教育再生加速プログラム（AP）の「学修成果の可視化」テーマで採択された取り組みなどを参考とし、国・公・私立の設置形態や設置学部分野、規模等を考慮して選んだ。

玉川大学（私立）	平成 29 年 1 月 27 日
京都工芸繊維大学（国立）	” 2 月 8 日
山形大学（国立）	” 2 月 17 日
東京女子大学（私立）	” 3 月 9 日
北九州市立大学（公立）	” 6 月 12 日

(3) 調査研究のとりまとめ

アンケート調査及び訪問調査とも、その結果からどのような知見が得られるか、現在まとめの作業を行っている。その内容は、ハンドブックとして最終成果を作成する際に明らかにしていく予定である。

アンケート調査及び訪問調査の結果から現段階で総じて言えることは、学習成果の設定や測定等のために、各大学が様々な工夫を行っていることである。そこには、専門領域による特徴も見られ、また、試行錯誤段階のなかで取り組まれている事例から、多様性といくつかの共通性を見出すこともできると言える。今後より詳細な検討を加え、各大学の参考となる調査研究成果をとりまとめていきたい。

3. アンケート調査結果

選択肢による質問項目と記述による質問項目のうち、以下では選択肢によるものの結果を掲載する。多岐にわたる記述回答の内容は、より詳細に分析・整理作業を行い、ハンドブックとして最終成果を取りまとめるなかで明らかにしていきたい。

(1) 回答大学数及び基本情報

	回答大学数	割合	回答率
全数	473	(100.0%)	(62.6%)
うち、国立	64	(13.5%)	(78.0%)
うち、公立	10	(2.1%)	(66.7%)
うち、公立大学法人	49	(10.4%)	(70.0%)
うち、私立(学校法人)	347	(73.4%)	(59.3%)
うち、私立(株式会社)	3	(0.6%)	(100.0%)
うち、正会員大学	276	(58.4%)	(82.4%)
うち、賛助会員大学	83	(17.5%)	(57.2%)
うち、その他	114	(24.1%)	(41.5%)

回答大学の
学部数(通学制)分布

1 学部	149	(31.5%)
2 学部	100	(21.1%)
～ 5 学部	139	(29.4%)
～ 8 学部	51	(10.8%)
～ 11 学部	26	(5.5%)
～ 14 学部	6	(1.3%)
～ 20 学部	1	(0.2%)
～ 30 学部	1	(0.2%)

回答大学の
在籍学生数(学部(通学制))分布

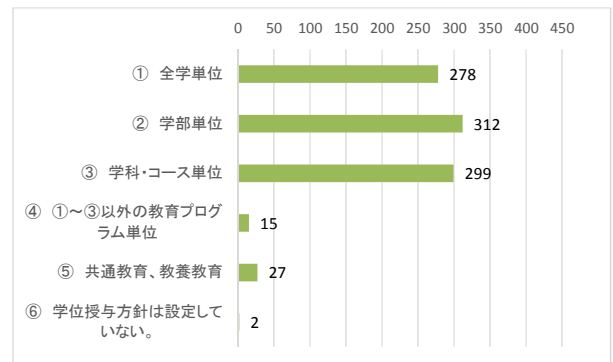
～ 100 人	1	(0.2%)
～ 500 人	52	(11.0%)
～ 1,000 人	68	(14.4%)
～ 2,000 人	111	(23.5%)
～ 3,000 人	53	(11.2%)
～ 4,000 人	29	(6.1%)
～ 5,000 人	36	(7.6%)
～ 6,000 人	24	(5.1%)
～ 7,000 人	20	(4.2%)
～ 8,000 人	14	(3.0%)
～ 9,000 人	14	(3.0%)
～ 10,000 人	9	(1.9%)
～ 15,000 人	21	(4.4%)
～ 20,000 人	8	(1.7%)
～ 50,000 人	12	(2.5%)
～ 100,000 人	1	(0.2%)

(2) アンケート調査結果（選択肢回答）

○ 学習成果の「設定」

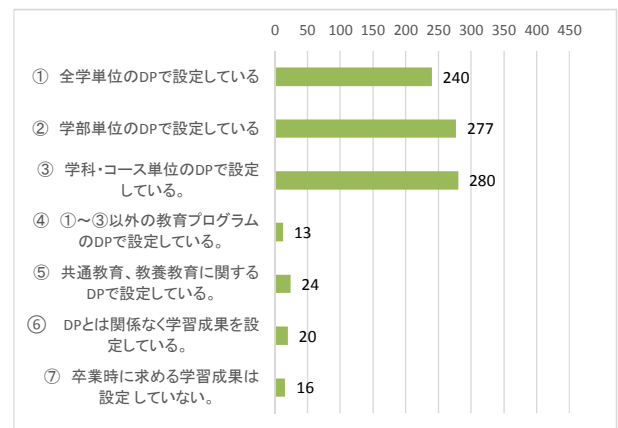
(a) 学位授与方針の設定単位（複数回答）

① 全学単位	278	(58.8%)
② 学部単位	312	(66.0%)
③ 学科・コース単位	299	(63.2%)
④ ①～③以外の教育プログラム単位	15	(3.2%)
⑤ 共通教育、教養教育	27	(5.7%)
⑥ 学位授与方針は設定していない。	2	(0.4%)



(b) 卒業時に求める学習成果の設定形態（複数回答）

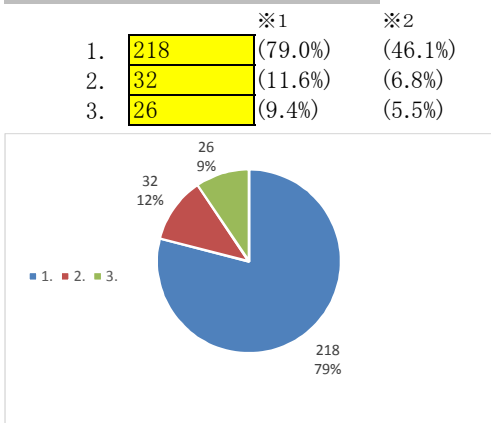
① 全学単位のDPで設定している	240	(50.7%)
② 学部単位のDPで設定している	277	(58.6%)
③ 学科・コース単位のDPで設定している。	280	(59.2%)
④ ①～③以外の教育プログラムのDPで設定している。	13	(2.7%)
⑤ 共通教育、教養教育に関するDPで設定している。	24	(5.1%)
⑥ DPとは関係なく学習成果を設定している。	20	(4.2%)
⑦ 卒業時に求める学習成果は設定していない。	16	(3.4%)



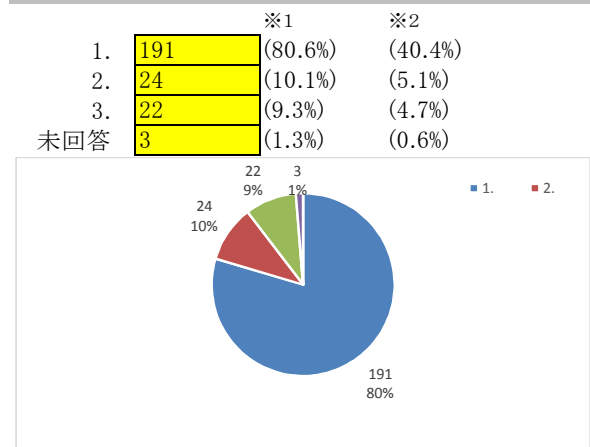
(c) 全学単位の学位授与方針における学習成果の内容

1. コミュニケーション能力、論理的思考力などの能力項目を抽象的に設定している。
2. 能力項目の到達水準を明記し、具体的に設定している。
3. 能力項目を用いた内容とはしていない。

回答全数



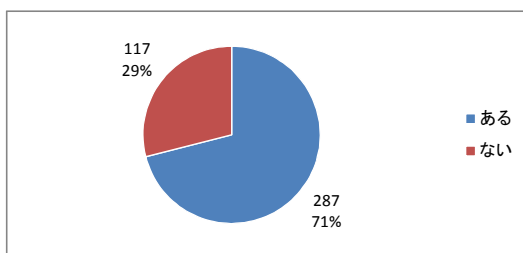
全回答のうち、設問通り回答（設問bで①を選択）した大学のみ数



注 ※1 本設問回答中に占める割合
 ※2 本アンケート調査全回答大学に占める割合

(d) 学部・学科等で学位授与方針を作成している大学のうち、同方針を学部・学科等で作成するための全学共通の基本方針有無

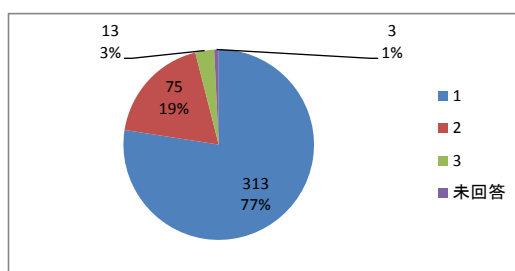
ある	287	(71.0%)
ない	117	(29.0%)



(e) 学部・学科等単位の学位授与方針における学習成果の内容

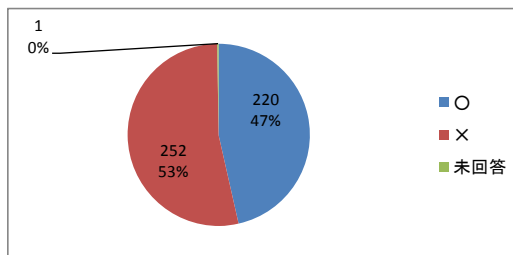
- 1.コミュニケーション能力、論理的思考力などの能力項目を抽象的に設定している。
 - 2.能力項目の到達水準を明記し、具体的に設定している。
 - 3.能力項目を用いた内容とはしていない。
- 未回答

313	(77.5%)
75	(18.6%)
13	(3.2%)
3	(0.7%)



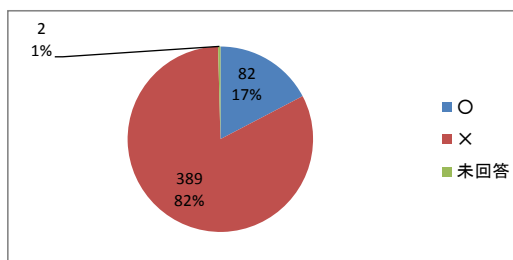
(f) 全学で共通した学習成果の設定有無

○	220	(46.5%)
×	252	(53.3%)
未回答	1	(0.2%)



(g) 所定の単位修得以外の卒業要件（TOEIC®等での一定以上の点数や何らかの資格取得、学部共通卒業試験の合格、GPAが一定以上など）の有無

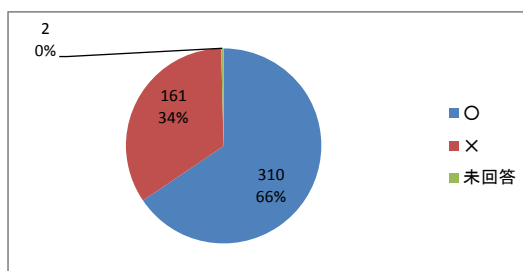
○	82	(17.3%)
×	389	(82.2%)
未回答	2	(0.4%)



○ 学習成果を「達成するための取り組み」

(h) 学習成果を積極的に達成するため、特に力を入れている取り組みの有無

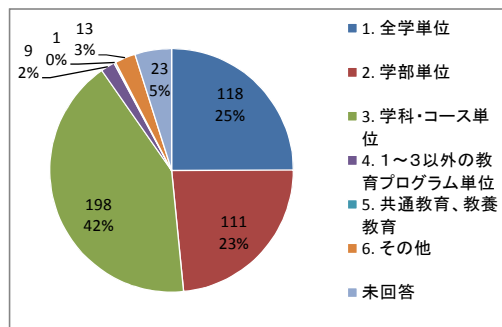
○	310	(65.5%)
×	161	(34.0%)
未回答	2	(0.4%)



(i) 学習成果を達成するために特に重視している取り組みの実施単位

1. 全学単位
2. 学部単位
3. 学科・コース単位
4. 1～3以外の教育プログラム単位
5. 共通教育、教養教育
6. その他
- 未回答

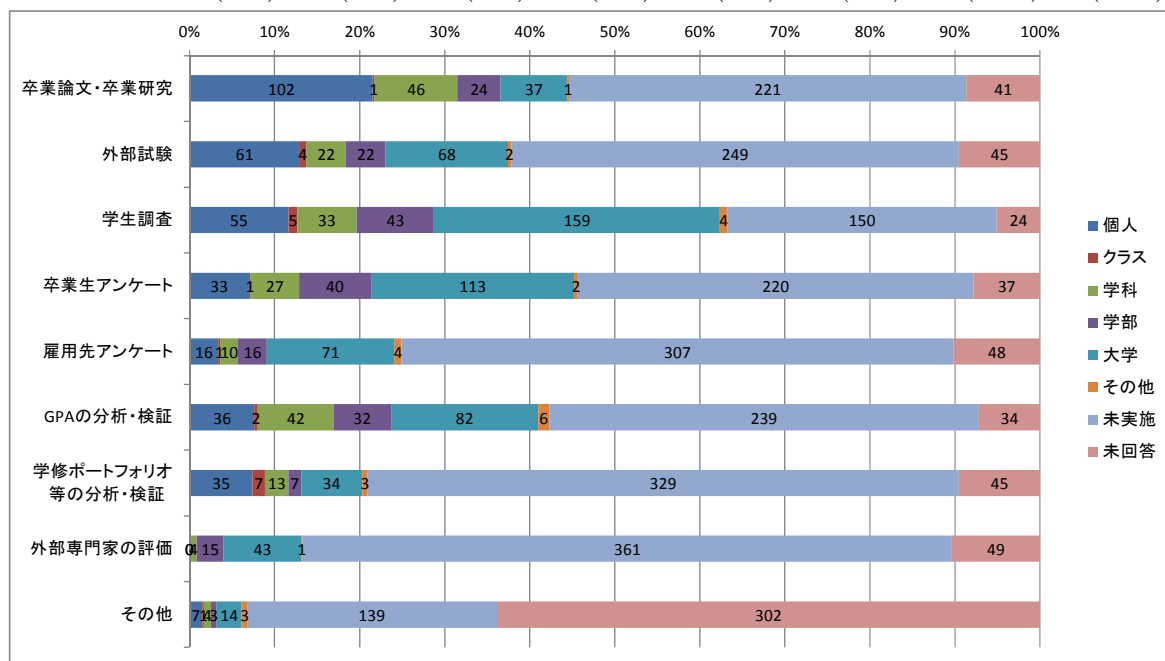
118	(24.9%)
111	(23.5%)
198	(41.9%)
9	(1.9%)
1	(0.2%)
13	(2.7%)
23	(4.9%)



○ 学習成果の「測定」「検証」について

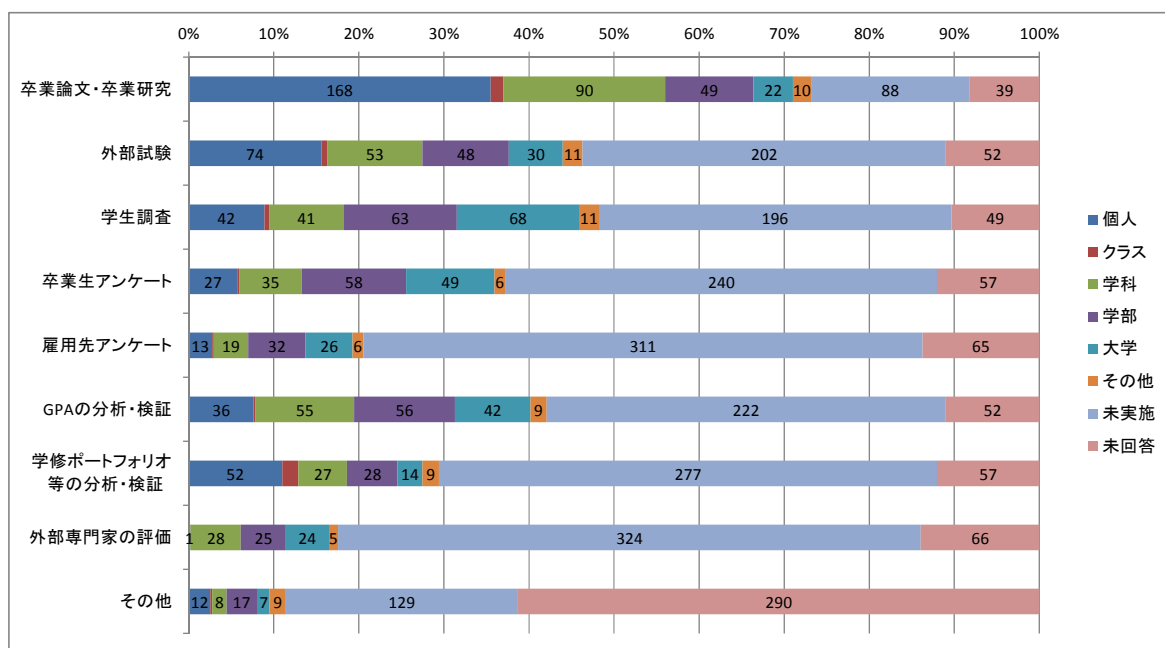
(j) 学習成果の到達状況を測定する全学的に共通した特定の取り組みと、それによって捉えようとする学習成果のレベル

	個人	クラス	学科	学部	大学	その他	未実施	未回答
① 卒業論文・卒業研究	102 (21.6%)	1 (0.2%)	46 (9.7%)	24 (5.1%)	37 (7.8%)	1 (0.2%)	221 (46.7%)	41 (8.7%)
② 外部試験	61 (12.9%)	4 (0.8%)	22 (4.7%)	22 (4.7%)	68 (14.4%)	2 (0.4%)	249 (52.6%)	45 (9.5%)
③ 学生調査	55 (11.6%)	5 (1.1%)	33 (7.0%)	43 (9.1%)	159 (33.6%)	4 (0.8%)	150 (31.7%)	24 (5.1%)
④ 卒業生アンケート	33 (7.0%)	1 (0.2%)	27 (5.7%)	40 (8.5%)	113 (23.9%)	2 (0.4%)	220 (46.5%)	37 (7.8%)
⑤ 雇用先アンケート	16 (3.4%)	1 (0.2%)	10 (2.1%)	16 (3.4%)	71 (15.0%)	4 (0.8%)	307 (64.9%)	48 (10.1%)
⑥ GPAの分析・検証	36 (7.6%)	2 (0.4%)	42 (8.9%)	32 (6.8%)	82 (17.3%)	6 (1.3%)	239 (50.5%)	34 (7.2%)
⑦ 学修ポートフォリオ等の分析・検証	35 (7.4%)	7 (1.5%)	13 (2.7%)	7 (1.5%)	34 (7.2%)	3 (0.6%)	329 (69.6%)	45 (9.5%)
⑧ 外部専門家の評価	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.8%)	15 (3.2%)	43 (9.1%)	1 (0.2%)	361 (76.3%)	49 (10.4%)
⑨ その他	7 (1.5%)	1 (0.2%)	4 (0.8%)	3 (0.6%)	14 (3.0%)	3 (0.6%)	139 (29.4%)	302 (63.8%)



(k) 学習成果の到達状況を測定する学部・学科等における特定の取り組みと、それによって捉えようとする学習成果のレベル

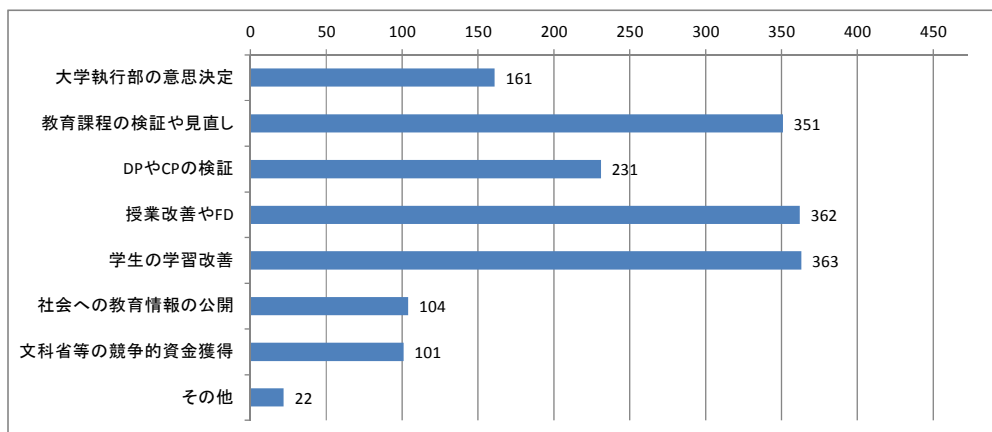
	個人	クラス	学科	学部	大学	その他	未実施	未回答
① 卒業論文・卒業研究	168 (35.5%)	7 (1.5%)	90 (19.0%)	49 (10.4%)	22 (4.7%)	10 (2.1%)	88 (18.6%)	39 (8.2%)
② 外部試験	74 (15.6%)	3 (0.6%)	53 (11.2%)	48 (10.1%)	30 (6.3%)	11 (2.3%)	202 (42.7%)	52 (11.0%)
③ 学生調査	42 (8.9%)	3 (0.6%)	41 (8.7%)	63 (13.3%)	68 (14.4%)	11 (2.3%)	196 (41.4%)	49 (10.4%)
④ 卒業生アンケート	27 (5.7%)	1 (0.2%)	35 (7.4%)	58 (12.3%)	49 (10.4%)	6 (1.3%)	240 (50.7%)	57 (12.1%)
⑤ 雇用先アンケート	13 (2.7%)	1 (0.2%)	19 (4.0%)	32 (6.8%)	26 (5.5%)	6 (1.3%)	311 (65.8%)	65 (13.7%)
⑥ GPAの分析・検証	36 (7.6%)	1 (0.2%)	55 (11.6%)	56 (11.8%)	42 (8.9%)	9 (1.9%)	222 (46.9%)	52 (11.0%)
⑦ 学修ポートフォリオ等の分析・検証	52 (11.0%)	9 (1.9%)	27 (5.7%)	28 (5.9%)	14 (3.0%)	9 (1.9%)	277 (58.6%)	57 (12.1%)
⑧ 外部専門家の評価	1 (0.2%)	0 (0.0%)	28 (5.9%)	25 (5.3%)	24 (5.1%)	5 (1.1%)	324 (68.5%)	66 (14.0%)
⑨ その他	12 (2.5%)	1 (0.2%)	8 (1.7%)	17 (3.6%)	7 (1.5%)	9 (1.9%)	129 (27.3%)	290 (61.3%)



(l) 学習成果の到達状況の測定・検証結果の活用方法（設問 j 又は設問 k 回答大学のみ（複数回答））

本設問回答大学数 **434** (全回答大学中 91.8%)

		※1	※2
① 大学執行部の意思決定	161	(37.1%)	(34.0%)
② 教育課程の検証や見直し	351	(80.9%)	(74.2%)
③ DPやCPの検証	231	(53.2%)	(48.8%)
④ 授業改善やFD	362	(83.4%)	(76.5%)
⑤ 学生の学習改善	363	(83.6%)	(76.7%)
⑥ 社会への教育情報の公開	104	(24.0%)	(22.0%)
⑦ 文科省等の競争的資金獲得	101	(23.3%)	(21.4%)
⑧ その他	22	(5.1%)	(4.7%)

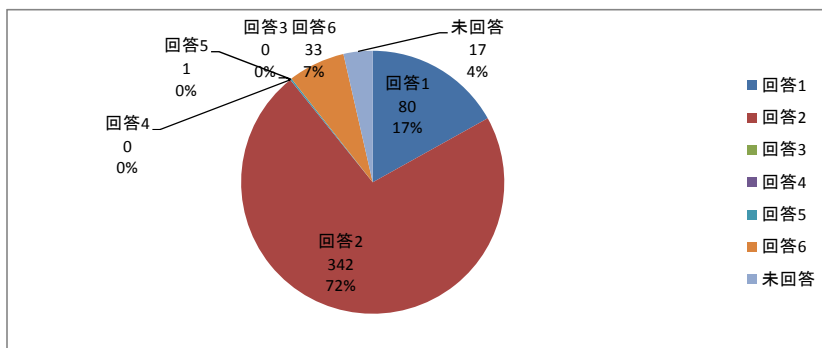


〔 Q12注 ※1 本設問回答中に占める割合
 ※2 本アンケート調査全回答大学に占める割合 〕

○ 3つのポリシーの状況

(m) 学位授与方針、教育課程の編成・実施方針及び学生の受け入れ方針の見直し状況

1. 見直しをすでに終えている。	80	(16.9%)
2. 現在見直し作業中である。	342	(72.3%)
3. 十分な内容を備えているため、これまで見直し作業は行っておらず、またその予定もない。	0	(0.0%)
4. 問題を感じているが、これまで見直し作業は行っておらず、またその予定もない。	0	(0.0%)
5. これまで策定していなかったため、現在策定作業中である。	1	(0.2%)
6. その他	33	(7.0%)
未回答	17	(3.6%)



資料編

(1) アンケート調査協力大学一覧

<国立>

秋田大学	熊本大学	奈良教育大学
旭川医科大学	群馬大学	奈良女子大学
茨城大学	神戸大学	鳴門教育大学
岩手大学	佐賀大学	一橋大学
宇都宮大学	滋賀大学	兵庫教育大学
愛媛大学	静岡大学	弘前大学
大分大学	島根大学	広島大学
大阪大学	上越教育大学	福井大学
大阪教育大学	信州大学	福岡教育大学
岡山大学	筑波大学	福島大学
小樽商科大学	電気通信大学	北海道大学
お茶の水女子大学	東京医科歯科大学	北海道教育大学
帯広畜産大学	東京海洋大学	三重大学
香川大学	東京工業大学	宮城教育大学
鹿児島大学	東京農工大学	宮崎大学
金沢大学	東北大学	山形大学
鹿屋体育大学	徳島大学	山口大学
北見工業大学	鳥取大学	山梨大学
岐阜大学	富山大学	横浜国立大学
九州工業大学	豊橋技術科学大学	琉球大学
京都教育大学	長崎大学	
京都工芸繊維大学	名古屋工業大学	

<公立>

茨城県立医療大学	群馬県立県民健康科学大学	福山市立大学
沖縄県立芸術大学	群馬県立女子大学	宮崎県立看護大学
香川県立保健医療大学	神戸市看護大学	
岐阜薬科大学	長野県看護大学	

<公立(法人立)>

愛知県立大学	大阪府立大学	埼玉県立大学
愛知県立芸術大学	岡山県立大学	札幌医科大学
会津大学	尾道市立大学	札幌市立大学
青森県立保健大学	北九州市立大学	静岡県立大学
秋田県立大学	九州歯科大学	島根県立大学
秋田公立美術大学	京都市立芸術大学	首都大学東京
石川県立大学	熊本県立大学	高崎経済大学
石川県立看護大学	高知県立大学	敦賀市立看護大学
岩手県立大学	高知工科大学	都留文科大学
愛媛県立医療技術大学	公立ほこだて未来大学	富山県立大学
大阪市立大学	国際教養大学	長崎県立大学

名古屋市立大学
奈良県立大学
新潟県立大学
広島市立大学
福井県立大学
福岡県立大学

福島県立医科大学
前橋工科大学
三重県立看護大学
宮城大学
宮崎公立大学
山形県立保健医療大学

山口県立大学
山梨県立大学
横浜市立大学
和歌山県立医科大学

<私立(学校法人)>

愛知大学
愛知医科大学
愛知学院大学
愛知工科大学
愛知工業大学
愛知淑徳大学
愛知東邦大学
愛知文教大学
藍野大学
青山学院大学
秋田看護福祉大学
麻布大学
亜細亜大学
足利工業大学
跡見学園女子大学
石巻専修大学
茨城キリスト教大学
いわき明星大学
岩手医科大学
植草学園大学
上野学園大学
宇都宮共和大学
江戸川大学
奥羽大学
桜花学園大学
追手門学院大学
桜美林大学
大阪青山大学
大阪医科大学
大阪大谷大学
大阪音楽大学
大阪学院大学
大阪河崎リハビリテーション大学
大阪経済大学
大阪経済法科大学
大阪工業大学
大阪産業大学
大阪歯科大学
大阪商業大学

大阪薬科大学
大阪行岡医療大学
大谷大学
岡崎女子大学
岡山学院大学
岡山理科大学
沖縄大学
沖縄国際大学
嘉悦大学
学習院大学
学習院女子大学
鹿児島国際大学
鹿児島純心女子大学
活水女子大学
神奈川大学
神奈川工科大学
神奈川歯科大学
金沢医科大学
金沢工業大学
川崎医科大学
川崎医療福祉大学
関西大学
関西医科大学
関西外国語大学
関西看護医療大学
関西学院大学
関東学院大学
北里大学
岐阜医療科学大学
岐阜経済大学
岐阜聖徳学園大学
岐阜女子大学
九州産業大学
九州情報大学
九州女子大学
九州保健福祉大学
九州ルーテル学院大学
共愛学園前橋国際大学
京都外国語大学

京都華頂大学
京都看護大学
京都光華女子大学
京都産業大学
京都精華大学
京都造形芸術大学
京都ノートルダム女子大学
京都薬科大学
共立女子大学
杏林大学
近畿大学
金城学院大学
国立音楽大学
熊本学園大学
倉敷芸術科学大学
くらしき作陽大学
群馬医療福祉大学
敬愛大学
慶應義塾大学
工学院大学
皇學館大学
甲子園大学
甲南大学
甲南女子大学
神戸海星女子学院大学
神戸学院大学
神戸芸術工科大学
神戸松蔭女子学院大学
神戸女学院大学
神戸女子大学
神戸親和女子大学
神戸薬科大学
高野山大学
国際医療福祉大学
国際基督教大学
国際武道大学
こども教育宝仙大学
駒澤大学
埼玉工業大学

相模女子大学
札幌大学
札幌大谷大学
札幌学院大学
札幌保健医療大学
三育学院大学
産業医科大学
志學館大学
至学館大学
四国大学
四條畷学園大学
静岡産業大学
自治医科大学
実践女子大学
四天王寺大学
修文大学
秀明大学
淑徳大学
純真学園大学
順天堂大学
尚綱大学
城西大学
城西国際大学
上智大学
湘南工科大学
上武大学
昭和大学
昭和音楽大学
昭和女子大学
昭和薬科大学
女子栄養大学
女子美術大学
杉野服飾大学
椋山女学園大学
鈴鹿大学
駿河台大学
聖学院大学
聖カタリナ大学
成蹊大学
成城大学
聖心女子大学
聖徳大学
西南学院大学
聖マリアンナ医科大学
摂南大学
専修大学
清泉女学院大学
洗足学園音楽大学
仙台大学
仙台白百合女子大学
千里金蘭大学
相愛大学

創価大学
第一工業大学
第一薬科大学
大正大学
大同大学
高岡法科大学
高崎健康福祉大学
高千穂大学
拓殖大学
玉川大学
多摩美術大学
筑紫女学園大学
千歳科学技術大学
千葉工業大学
千葉商科大学
中央大学
中央学院大学
中京大学
中国学園大学
中部大学
中部学院大学
津田塾大学
鶴見大学
帝京大学
帝京平成大学
帝塚山大学
田園調布学園大学
天使大学
天理大学
天理医療大学
東海大学
東海学園大学
東京医科大学
東京医療保健大学
東京基督教大学
東京経済大学
東京工芸大学
東京情報大学
東京女子大学
東京女子医科大学
東京女子体育大学
東京神学大学
東京都市大学
東京農業大学
東京富士大学
東京未来大学
東京薬科大学
同志社大学
同志社女子大学
東邦大学
東邦音楽大学
東北医科薬科大学

東北学院大学
東北生活文化大学
東北福祉大学
東北文化学園大学
東洋大学
東洋英和女学院大学
常磐大学
徳島文理大学
徳山大学
常葉大学
獨協大学
獨協医科大学
苫小牧駒澤大学
富山国際大学
豊田工業大学
長岡大学
長崎外国語大学
長崎国際大学
長崎純心大学
長崎総合科学大学
長野大学
長野保健医療大学
中村学園大学
名古屋外国語大学
名古屋学院大学
南山大学
新潟工科大学
新潟青陵大学
新潟薬科大学
西日本工業大学
西九州大学
二松学舎大学
日本工業大学
日本大学
日本映画大学
日本歯科大学
日本社会事業大学
日本獣医生命科学大学
日本女子大学
日本女子体育大学
日本赤十字看護大学
日本赤十字九州国際看護大学
日本赤十字豊田看護大学
日本赤十字広島看護大学
日本体育大学
日本福祉大学
日本文理大学
日本薬科大学
人間環境大学
ノートルダム清心女子大学
梅光学院大学
函館大学

八戸工業大学
花園大学
阪南大学
東大阪大学
比治山大学
姫路大学
兵庫大学
兵庫医科大学
兵庫医療大学
弘前学院大学
広島国際学院大学
広島修道大学
広島女学院大学
びわこ学院大学
フェリス女学院大学
福岡大学
福岡工業大学
福岡歯科大学
福岡女学院看護大学
福山大学
富士大学
藤女子大学
藤田保健衛生大学
佛教大学
文教大学

文京学院大学
平成国際大学
北星学園大学
北陸大学
保健医療経営大学
北海学園大学
北海道医療大学
北海道科学大学
北海道文教大学
松本大学
松本歯科大学
松山大学
南九州大学
宮城学院女子大学
宮崎国際大学
宮崎産業経営大学
森ノ宮医療大学
武庫川女子大学
武蔵大学
武蔵野音楽大学
武蔵野美術大学
明海大学
明治大学
明治学院大学
明治薬科大学

名城大学
明星大学
ものづくり大学
桃山学院大学
盛岡大学
山口学芸大学
大和大学
山梨英和大学
横浜創英大学
横浜美術大学
横浜薬科大学
四日市看護医療大学
立教大学
立正大学
立命館大学
立命館アジア太平洋大学
龍谷大学
流通科学大学
流通経済大学
ルーテル学院大学
麗澤大学
和光大学
早稲田大学
和洋女子大学

<私立(株式会社)>

サイバー大学
デジタルハリウッド大学

ビジネス・ブレークスルー大学

(2) アンケート調査項目

公益財団法人 大学基準協会
わが国の大学における「学習成果」の設定・測定等に関する
現状調査アンケート
回答用紙

※ 以下の質問では、原則として、学士課程教育における現時点の内容をお答えください。

※ は、記述式です(字数制限なし)。 は、プルダウンから選択肢を選んで回答してください。

I. 大学の基本情報

Q1-1 大学名

Q1-2 設置形態の別

1. 国立大学法人 2. 公立大学 3. 公立大学法人
4. 私立(学校法人) 5. 私立(株式会社立)

Q1-3 学部・研究科数 ※学部・研究科を名称としていない場合は、同等組織

学部 研究科

Q1-4 在学生数 ※本年5月1日時点

学部 人 研究科 人

II. 大学の機関別認証評価の受審状況

Q2-1 直近の受審評価機関

1. 大学基準協会 2. 大学評価・学位授与機構^(※) 3. 日本高等教育評価機構

(※) 現: 大学改革支援・学位授与機構

Q2-2 直近の受審年度(西暦) 年

III. 学習成果の「設定」について

Q3 貴大学では、学位授与方針(ディプロマポリシー(以下、「DP」という。))をどの単位で設定していますか。あてはまるものをすべて選択してください。

※ なお、選択肢中「教育プログラム」とは、「学位(ここでは「学士」)を授与するために編成された教育課程」を意味するものとします(以下同様)。

- ① 全学単位 ② 学部単位
③ 学科・コース単位 ④ ①～③以外の教育プログラムの単位
⑤ 共通教育、教養教育 ⑥ 学位授与方針は設定していない。

Q4 貴大学では、学位授与方針において、卒業に求める学習成果をどのように設定していますか。あてはまるものをすべて選択してください。

- ① 全学単位のDPで設定している。 ② 学部単位のDPで設定している。
③ 学科・コース単位のDPで設定している。 ④ ①～③以外の教育プログラムのDPで設定している。
⑤ 共通教育、教養教育に関するDPで設定している。 ⑥ DPとは関係なく学習成果を設定している。
⑦ 卒業時に求める学習成果は設定していない。

Q5 前問(Q4)で①～⑤の何れかに○を付けた場合、その内容についてうかがいます。
Q5-1 Q4で①に○を付けた場合(全学単位のDPで学習成果を設定している場合)、その記載内容は次のどれに近いですか。あてはまるものを1つ選択してください。

1. コミュニケーション能力、論理的思考力などの能力項目を抽象的に設定している。
2. 能力項目の到達水準を明記し、具体的に設定している。
3. 能力項目を用いた内容とはしていない。

Q5-2 Q4で②～⑤のいずれかに○を付けた場合(学部、学科・コース、それ以外の教育プログラム又は共通教育・教養教育に関するDPで学習成果を設定している場合)、次のことについてうかがいます。

Q5-2-1 各学部・学科等でDPを作成するにあたり、全学共通の基本方針(全学方針)はありますか。

○(ある) ×(ない)

Q5-2-2 各学部・学科等で設定しているDPの記載内容は次のどれに近いですか。あてはまるものを1つ選択してください。

1. コミュニケーション能力、論理的思考力などの能力項目を抽象的に設定している。
2. 能力項目の到達水準を明記し、具体的に設定している。
3. 能力項目を用いた内容とはしていない。

Q6 貴大学では、全学で共通した「学習成果」は設定していますか。設定している場合、どのような内容ですか。具体的に記述してください(DPが該当する場合、その内容を記述してください)。

○(設定している) ×(設定していない)

設定している場合の具体的内容

Q7 貴大学では、卒業要件とする学習成果として、所定の単位修得以外の要件(TOEIC^R等での一定以上の点数や何らかの資格取得、学部共通卒業試験の合格、GPAが一定以上など)を設定していますか。その場合、該当する学部・学科名や教育プログラム名とともに、その内容を記述してください。

○(設定している) ×(設定していない)

設定している場合の具体的内容

IV. 学習成果を「達成するための取り組み」について

Q8 貴大学では、設定している「学習成果」を積極的に達成するため、特に力を入れている取り組みはありますか。ある場合は、その内容を記述してください。

○(行っている) ×(行っていない)

行っている場合の具体的内容

Q9 貴大学では、設定している「学習成果」を達成するため、特にどの単位での取り組みを重視していますか。あてはまるもの1つを選択してください(「6. その他」を選択した場合は、「※その他」欄にその単位を記述してください)。また、その内容を具体的に記述して下さい。

- 1. 全学単位
- 2. 学部単位
- 3. 学科・コース単位
- 4. 1～3以外の教育プログラム単位
- 5. 共通教育、教養教育
- 6. その他

※その他

V. 学習成果の「測定」「検証」について

Q10 貴大学では、「学習成果」の到達状況を測定するために**全学的に共通した**特定の取り組みを行っていますか。またそれは、「学習成果」をどのレベルで捉えようとして行うものですか。以下のそれぞれについて最も該当するレベルを回答し(行っていない場合は、「7. 行っていない」を選択)、あわせて担当する部署名も記述してください。(①～⑧以外に行っている場合は、「⑨その他」を回答し、あわせて「※その他」欄にその具体的な内容を記述してください。)

- 「学習成果」のレベル選択肢
 1. 個人 2. クラス 3. 学科 4. 学部 5. 大学 6. その他 7. 行っていない

- | | | | |
|--------------------|----------------------|-------------|----------------------|
| ① 卒業論文・卒業研究 | <input type="text"/> | ② 外部試験 | <input type="text"/> |
| ③ 学生調査 | <input type="text"/> | ④ 卒業生アンケート | <input type="text"/> |
| ⑤ 雇用先アンケート | <input type="text"/> | ⑥ GPAの分析・検証 | <input type="text"/> |
| ⑦ 学修ポートフォリオ等の分析・検証 | <input type="text"/> | ⑧ 外部専門家の評価 | <input type="text"/> |
| ⑨ その他 | <input type="text"/> | | |

※ その他

上記いずれかの取り組みがある場合の各担当部署名

Q11 貴大学では、「学習成果」の到達状況を測定するために**学部・学科等で**特定の取り組みを行っていますか。またそれは、「学習成果」をどのレベルで捉えようとして行うものですか。以下のそれぞれについて最も該当するレベルを回答し(行っていない場合は、「7. 行っていない」を選択)、あわせて担当する部署名も記述してください。(①～⑧以外に行っている場合は、「⑨その他」を回答し、あわせて「※その他」欄にその具体的な内容を記述してください。)

- 「学習成果」のレベル選択肢
 1. 個人 2. クラス 3. 学科 4. 学部 5. 大学 6. その他 7. 行っていない

- | | | | |
|--------------------|----------------------|-------------|----------------------|
| ① 卒業論文・卒業研究 | <input type="text"/> | ② 外部試験 | <input type="text"/> |
| ③ 学生調査 | <input type="text"/> | ④ 卒業生アンケート | <input type="text"/> |
| ⑤ 雇用先アンケート | <input type="text"/> | ⑥ GPAの分析・検証 | <input type="text"/> |
| ⑦ 学修ポートフォリオ等の分析・検証 | <input type="text"/> | ⑧ 外部専門家の評価 | <input type="text"/> |
| ⑨ その他 | <input type="text"/> | | |

※ その他

上記いずれかの取り組みがある場合の各担当部署名

Q12 前々問(Q10)もしくは前問(Q11)で、何らかの取り組みがあると選択した場合にうかがいます。「学習成果」の到達状況の測定・検証の結果はどのような目的のために活用していますか。あてはまるものをすべて選択してください。また、その具体的な活用事例を記述してください。

- | | | | |
|----------------|--|---------------|--|
| ① 大学執行部の意思決定 | | ② 教育課程の検証や見直し | |
| ③ DPやCPの検証 | | ④ 授業改善やFD | |
| ⑤ 学生の学習改善 | | ⑥ 社会への教育情報の公開 | |
| ⑦ 文科省等の競争的資金獲得 | | ⑧ その他 | |

具体的な活用事例

VI. 学習成果の「設定」状況について

Q13 貴大学では、「学習成果」をどのようなものとしてとらえていますか。貴大学の考えがわかる「学習成果」の位置づけについて具体的に記述してください。

VII. 課題認識について

Q14 貴大学では、「学習成果」の設定、学習成果を達成するための取り組み、測定、検証、測定結果の活用等で、課題と感じていることはありますか。もしあれば、具体的に記述してください。

VIII. 国内外の参考事例

Q15 貴大学が、本アンケートに回答された考えや取り組み等を具体化するにあたって、参考とした国内外の取組事例等があれば、その内容を具体的に教えてください。

IX. 3つのポリシーの状況について

Q16 貴大学のディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーの3つのポリシーの見直しを行っていますか。あてはまるものを1つ選択してください。

1. 見直しをすでに終えている。
2. 現在見直し作業中である。
3. 十分な内容を備えているため、これまで見直し作業は行っておらず、またその予定もない。
4. 問題を感じているが、これまで見直し作業は行っておらず、またその予定もない。
5. これまで策定していなかったため、現在策定作業中である。
6. その他

※その他

X. 関連資料の提供のお願い

本アンケートでの貴大学の回答の内容について、その考えや取り組みを本協会が理解するにあたって参考となる資料(貴大学における「学習成果」にかかわる文書、組織体制、活動概要が記された資料や報告書等)があれば、回答時にあわせてご提供ください。

XI. 回答者について

お名前

所属・役職

連絡先電話番号

メールアドレス

ご協力ありがとうございました。大学基準協会あて(kikaku@juaa.or.jp)にご回答下さい。

(3) 高等教育のあり方研究会 学習成果に関する調査研究部会 名簿

職名	氏名	所属	専門
部会長	山田礼子	同志社大学	高等教育論、継続教育論
部会調査研究員	今田晶子	立教大学	高等教育、大学経営
〃	川嶋太津夫	大阪大学	教育社会学、比較高等教育論
〃	白川優治	千葉大学	高等教育論、教育社会学、 教育行財政学
〃	西 誠	金沢工業大学	工学教育(数理基礎教育)

※ 任期:平成 28 年6月1日 ~ 平成 30 年3月 31 日